

10. グラフで見る1973～2001年の卵巣腫瘍

広島県腫瘍登録（1973 - 2001年）における卵巣腫瘍の解析結果のまとめ

1. 新規に登録された卵巣腫瘍登録数の年次推移（図1、表1）

1973年から2001年の間に新規に登録された卵巣腫瘍は総計14,119例である。そのうち、良性腫瘍が11,079例、境界悪性腫瘍が359例、悪性腫瘍が2,681例である。これらを年代別にみると、総じて1990年頃まで右肩上がりに増加し、良性腫瘍と悪性腫瘍については1990年代以降も増加傾向がみられる。登録数の増加の背景には、超音波検査、CT、MRIの普及、腫瘍マーカーの応用、検診の成果による発見動機の増加が大きく影響していると推定される。

2. 年齢階級別にみた卵巣腫瘍の登録数（図2、表2）

良性腫瘍では、30歳代前後の若年層にピークがある。悪性腫瘍は50歳代をピークとし、高齢者側にシフトしている。境界悪性腫瘍は年齢層の上でも両者の中間帯に位置している。時間腫瘍学の観点から興味深い。卵巣腫瘍の年齢分布は国内外の報告にみられると同様の傾向を示している¹⁾⁻⁶⁾。

3. 年齢階級別にみた卵巣腫瘍登録数の年次推移（図3、表3）

良性腫瘍では、20歳代から70歳代までほぼすべての年齢層で増加傾向がみられ、特に20歳代から40歳代までの登録数の増加が著しい。悪性腫瘍では、30歳代から80歳代まで幅広い年齢層で登録数の増加傾向がみられ、特に40歳代から70歳代までの比較的高齢層の増加勾配が強い。

4. 卵巣腫瘍の年次別にみた年齢階級別登録数および登録率（図4、表4）

良性腫瘍の登録率はいずれの年次においても20歳代から40歳代をピークとする一峰性であり、悪性腫瘍はいずれの年次においても50歳代から60歳代をピークとする一峰性の登録率を示し、その傾向は変わらない。

5. 卵巣腫瘍の性状別にみた左右別登録数（図5、表5）

左右別の登録は4割近くが不詳であった。良性、境界悪性、悪性いずれも左右ほぼ同数が登録されている。両側性の割合は、良性（1.3%）、境界悪性（1.2%）、悪性（3.3%）である。

6. 卵巣腫瘍の組織型分類割合（表6）

組織学的分類はICD-Oの性状コードにより良性（/0）、境界悪性（/1）、悪性（/3）に大別した。表中の診断名およびその順序は原則としてICD-O形態コードの昇順となっているが、日本産科婦人科学会・日本病理学会編 卵巣腫瘍取扱い規約における表層上皮

性・間質性腫瘍、性索間質性腫瘍、胚細胞腫瘍、性腺芽腫などのカテゴリー別分類を加味して若干の改変を加えている。たとえば、卵巣カルチノイドは境界悪性腫瘍とし、胚細胞腫瘍のカテゴリーに入れている。

良性腫瘍では、良性奇形腫+皮様嚢胞（54.3%）が半数を占め、その次に粘液性嚢胞腺腫（20.6%）、漿液性嚢胞腺腫（12.7%）が多くみられる。境界悪性腫瘍では、粘液性嚢胞腺腫、境界悪性（49.6%）が半数を占め、次いで漿液性嚢胞腺腫、境界悪性（18.7%）、顆粒膜細胞腫（15.6%）が続く。悪性腫瘍では、漿液性嚢胞腺癌（36.2%）と粘液性嚢胞腺癌（22.2%）とで過半数を占め、次いで類内膜腺癌（9.3%）、明細胞腺癌（8.4%）、腺癌 NOS（7.3%）が続き、これら表層上皮性・間質性腫瘍が80%以上を占める。良性と境界悪性では粘液性腫瘍が漿液性腫瘍を上回っているが、悪性になるとこの順位が逆転する。組織型別頻度は国内外の報告にみられると同様の傾向を示している^{1)~6)}。

7. 良性卵巣腫瘍の主要組織型別登録数の年次推移（図7、表7）

良性腫瘍の3大組織型（良性奇形腫、粘液性嚢胞腺腫、漿液性嚢胞腺腫）のうち、特に良性奇形腫の登録数が増加してきている。

8. 悪性卵巣腫瘍の主要組織型別登録数の年次推移（図8、表8）

悪性腫瘍の4大組織型（漿液性嚢胞腺癌、粘液性嚢胞腺癌、類内膜腺癌、明細胞腺癌）のうち、特に漿液性嚢胞腺癌と粘液性嚢胞腺癌の登録数が増加する傾向がみられる。

9. 年齢階級別にみた良性卵巣腫瘍の主要組織型別登録数（図9、表9）

良性腫瘍の3大組織型のうち、良性奇形腫の年齢ピーク（20歳代～30歳代）は粘液性嚢胞腺腫や漿液性嚢胞腺腫のそれ（40歳代）に比して若年層にシフトしている。

10. 年齢階級別にみた悪性卵巣腫瘍の主要組織型別登録数（図10、表10）

悪性腫瘍の4大組織型である漿液性嚢胞腺癌、粘液性嚢胞腺癌、類内膜腺癌、明細胞腺癌の年齢ピークはいずれも50歳代にある。

11. 広域医療圏別にみた卵巣腫瘍の年次別登録数および登録率（図11、表11）

いずれの医療圏においても良性腫瘍と悪性腫瘍の登録率は経年的に増加傾向にある。一方、境界悪性腫瘍ではいずれの医療圏でも1998年以降減少傾向に転じている。今後の動きに注目したい。なお、備後圏域の登録率が相対的に低いのは登録医療機関が少ないことによると推定される。

12. 転移性卵巣腫瘍の原発部位（図12、表12）

転移性卵巣腫瘍として登録されているのは、採取部位が卵巣であって臨床情報および組織学的所見にて転移と診断されたが、その原発臓器については採取されていない症例で

ある。登録数115例の解析では、原発部位として胃（42.6%）が最も多く、次いで結腸（7.8%）、直腸（2.6%）、乳房（2.6%）と続く。なお、原発部位不明は35.7%であった。

文献的考察：

（発生年齢について）

世界的に原発性悪性卵巣腫瘍の最も好発しやすい年齢は45歳以上55歳未満である²⁾。わが国においても40歳以上に好発する傾向がある³⁾⁴⁾。表層上皮性・間質性腫瘍は40歳以上に多く、胚細胞性腫瘍は20歳前後が好発年齢である。両腫瘍系のうち、前者が悪性卵巣腫瘍の70%を占める。

表層上皮性・間質性腫瘍についてみると境界悪性腫瘍は悪性に比して幾分若い年齢に発生する傾向がある²⁾⁵⁾。これは悪性腫瘍には好発年齢の比較的高い漿液性腺癌が多い一方、境界悪性腫瘍では好発年齢が比較的低い粘液性腺癌が多いことに一因がある。

（組織型別頻度について）

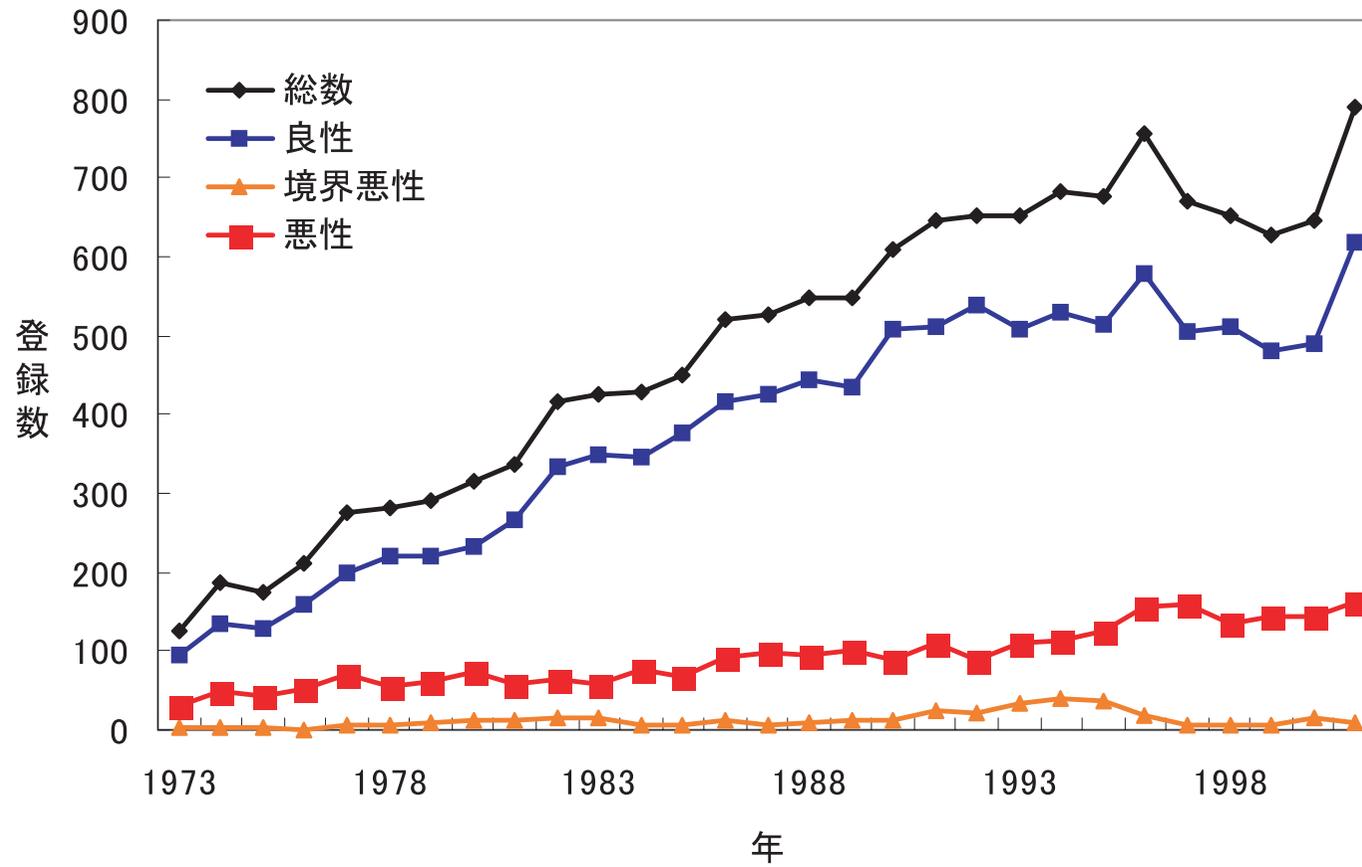
日本産科婦人科学会卵巣腫瘍登録委員会（1983年）の統計では、手術された全卵巣腫瘍患者 11,726例中、良性は8,685例（嚢胞性 8334例、充実性351例；74%）、境界悪性群は787例（6.7%）、悪性は2174例（18.5%）である。境界悪性群787例中、頻度の多い組織型は、漿液性嚢胞腺腫（34.3%）、粘液性嚢胞腺腫（19.1%）、顆粒膜細胞腫（10.2%）である。原発性悪性腫瘍1170例の内訳では、漿液性嚢胞腺癌420例（36%）、粘液性嚢胞腺癌233例（20%）、類内膜癌63例（5.4%）、明細胞腺癌47例（4.0%）などの表層上皮性・間質性腫瘍が90%を占める。

長崎腫瘍組織登録委員会の平成7年～平成11年分資料⁶⁾によれば、卵巣良性腫瘍（811例）のうち、良性奇形腫＋皮様嚢胞（56%）、粘液性嚢胞腺腫（23%）、漿液性嚢胞腺腫（14%）が多い。悪性腫瘍および境界悪性腫瘍（192例）では漿液性腫瘍（30%）、粘液性腫瘍（29%）、類内膜腺癌（15%）、明細胞腺癌（11%）で85%を占める。

【参考文献】

1. 産婦人科 Clinical Data. 産科と婦人科 増刊号 Vol.60, Suppl.: 224-233, 1993
2. FIGO Annual Report, 1986
3. 1980～1985の統計. 卵巣がん予後改善に関する共同研究編
4. 全国卵巣悪性腫瘍調査成績 1983. 日本産科婦人科学会卵巣腫瘍登録委員会編
5. 斉藤豊一ほか. 産婦の実際, 38: 1045, 1989
6. 長崎腫瘍組織登録委員会 平成7年～平成11年分資料. 長崎市医師会・(財)長崎県総合保健センター、平成16年

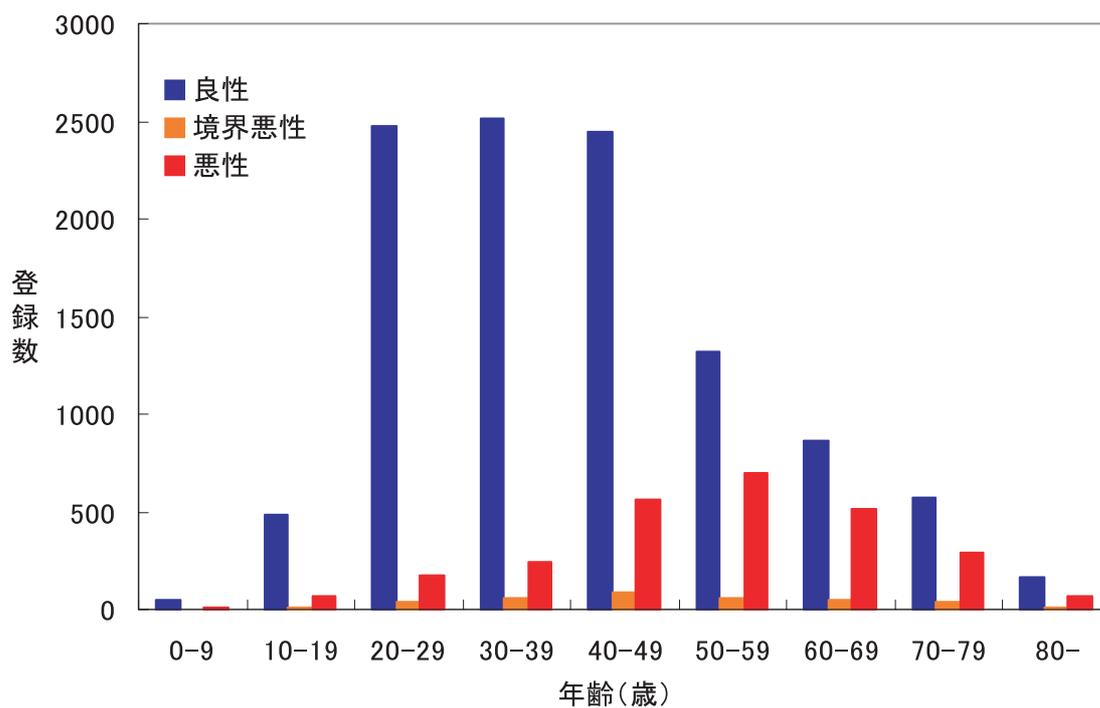
(1) 新規に登録された卵巣腫瘍登録数の年次推移



(1) 新規に登録された卵巣腫瘍登録数の年次推移

年	良 性	境界悪性	悪 性	総 数
1973	94	2	31	127
1974	136	2	50	188
1975	128	3	42	173
1976	159	0	53	212
1977	199	5	70	274
1978	220	6	55	281
1979	219	10	61	290
1980	232	11	73	316
1981	266	11	59	336
1982	335	16	65	416
1983	350	16	59	425
1984	345	6	78	429
1985	376	7	66	449
1986	417	11	91	519
1987	425	6	97	528
1988	445	10	94	549
1989	435	12	101	548
1990	509	12	89	610
1991	512	25	109	646
1992	540	21	90	651
1993	508	33	110	651
1994	530	40	112	682
1995	515	36	125	676
1996	580	19	157	756
1997	504	5	160	669
1998	512	5	136	653
1999	480	5	144	629
2000	489	14	143	646
2001	619	10	161	790
総数	11,079	359	2,681	14,119

(2) 年齢階級別にみた卵巣腫瘍の登録数

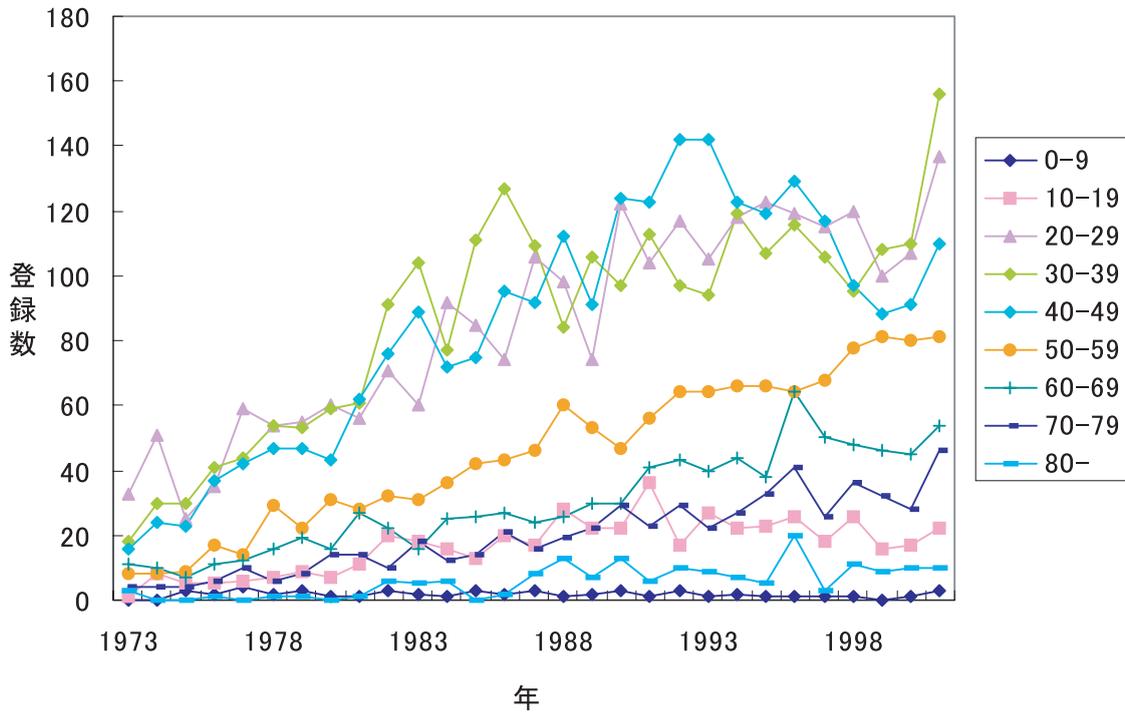


	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	総数
良 性	51	485	2,475	2,517	2,448	1,324	868	574	167	10,909
	(0.5)	(4.4)	(22.7)	(23.1)	(22.4)	(12.1)	(8.0)	(5.3)	(1.5)	(100.0)
境界悪性	1	14	38	55	90	58	47	37	13	353
	(0.3)	(4.0)	(10.8)	(15.6)	(25.5)	(16.4)	(13.3)	(10.5)	(3.7)	(100.0)
悪 性	11	69	178	243	563	698	511	295	69	2,637
	(0.4)	(2.6)	(6.8)	(9.2)	(21.4)	(26.5)	(19.4)	(11.2)	(2.6)	(100.0)
総 数	63	568	2,691	2,815	3,101	2,080	1,426	906	249	13,899
	(0.5)	(4.1)	(19.4)	(20.3)	(22.3)	(15.0)	(10.3)	(6.5)	(1.8)	(100.0)

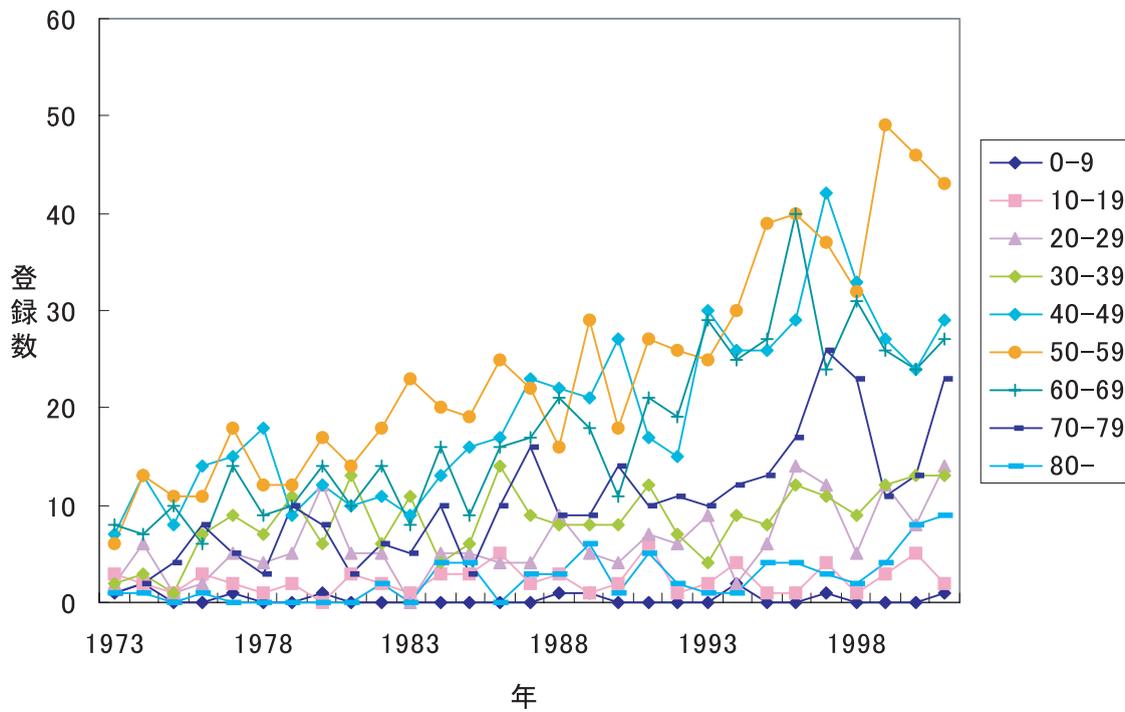
年齢不詳の220例を除く

(3) 年齢階級別にみた卵巣腫瘍登録数の年次推移

(良性)



(悪性)



(3) 年齢階級別にみた卵巣腫瘍登録数の年次推移

(良性)

	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	総数
1973	0	1	33	18	16	8	11	4	3	94
1974	0	8	51	30	24	8	10	4	0	135
1975	3	5	25	30	23	9	7	4	0	106
1976	2	5	35	41	37	17	11	6	1	155
1977	4	6	59	44	42	14	12	10	0	191
1978	2	7	54	54	47	29	16	6	1	216
1979	3	9	55	53	47	22	19	8	1	217
1980	1	7	60	59	43	31	16	14	0	231
1981	1	11	56	61	62	28	27	14	1	261
1982	3	20	71	91	76	32	22	10	6	331
1983	2	18	60	104	89	31	16	18	5	343
1984	1	16	92	77	72	36	25	12	6	337
1985	3	13	85	111	75	42	26	14	0	369
1986	2	20	74	127	95	43	27	21	2	411
1987	3	17	106	109	92	46	24	16	8	421
1988	1	28	98	84	112	60	26	19	13	441
1989	2	22	74	106	91	53	30	22	7	407
1990	3	22	122	97	124	47	30	29	13	487
1991	1	36	104	113	123	56	41	23	6	503
1992	3	17	117	97	142	64	43	29	10	522
1993	1	27	105	94	142	64	40	22	9	504
1994	2	22	118	119	123	66	44	27	7	528
1995	1	23	123	107	119	66	38	33	5	515
1996	1	26	119	116	129	64	64	41	20	580
1997	1	18	115	106	117	68	50	26	3	504
1998	1	26	120	95	97	78	48	36	11	512
1999	0	16	100	108	88	81	46	32	9	480
2000	1	17	107	110	91	80	45	28	10	489
2001	3	22	137	156	110	81	54	46	10	619
総数	51	485	2,475	2,517	2,448	1,324	868	574	167	10,909

年齢不詳の170例を除く

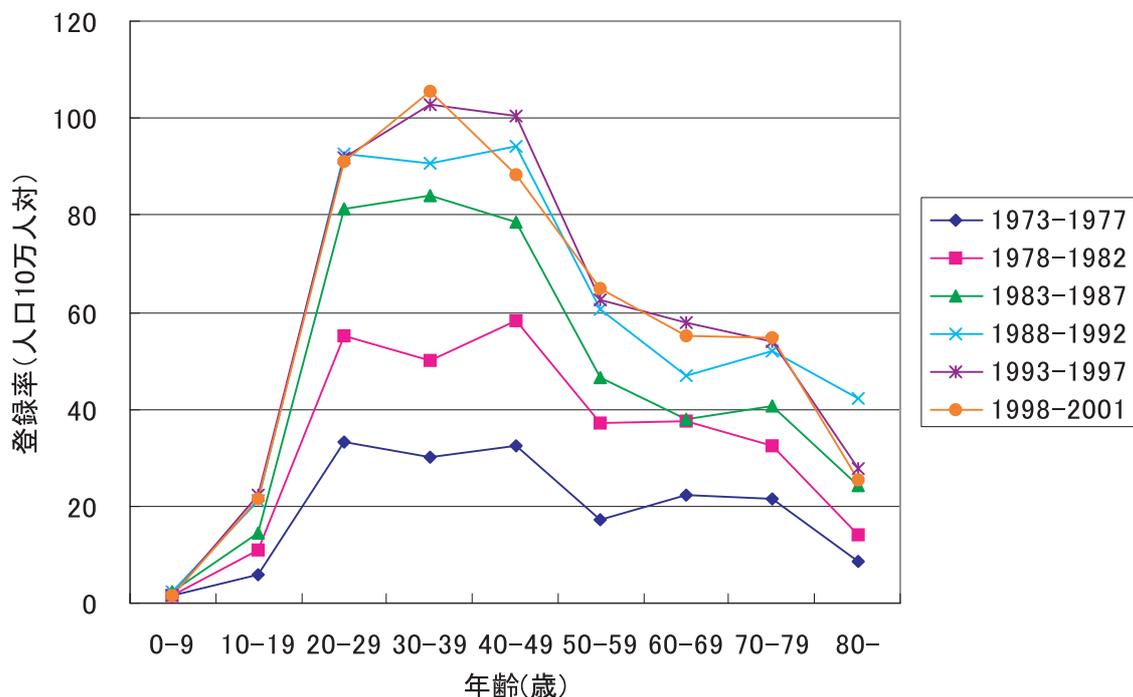
(悪性)

	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	総数
1973	1	3	2	2	7	6	8	1	1	31
1974	2	2	6	3	13	13	7	2	1	49
1975	0	1	1	1	8	11	10	4	0	36
1976	0	3	2	7	14	11	6	8	1	52
1977	1	2	5	9	15	18	14	5	0	69
1978	0	1	4	7	18	12	9	3	0	54
1979	0	2	5	11	9	12	10	10	0	59
1980	1	0	12	6	12	17	14	8	0	70
1981	0	3	5	13	10	14	10	3	0	58
1982	0	2	5	6	11	18	14	6	2	64
1983	0	1	0	11	9	23	8	5	0	57
1984	0	3	5	4	13	20	16	10	4	75
1985	0	3	5	6	16	19	9	3	4	65
1986	0	5	4	14	17	25	16	10	0	91
1987	0	2	4	9	23	22	17	16	3	96
1988	1	3	9	8	22	16	21	9	3	92
1989	1	1	5	8	21	29	18	9	6	98
1990	0	2	4	8	27	18	11	14	1	85
1991	0	6	7	12	17	27	21	10	5	105
1992	0	1	6	7	15	26	19	11	2	87
1993	0	2	9	4	30	25	29	10	1	110
1994	2	4	2	9	26	30	25	12	1	111
1995	0	1	6	8	26	39	27	13	4	124
1996	0	1	14	12	29	40	40	17	4	157
1997	1	4	12	11	42	37	24	26	3	160
1998	0	1	5	9	33	32	31	23	2	136
1999	0	3	12	12	27	49	26	11	4	144
2000	0	5	8	13	24	46	24	13	8	141
2001	1	2	14	13	29	43	27	23	9	161
総数	11	69	178	243	563	698	511	295	69	2,637

年齢不詳の44例を除く

(4) 卵巣腫瘍の年次別にみた年齢階級別登録数および登録率

(良性)

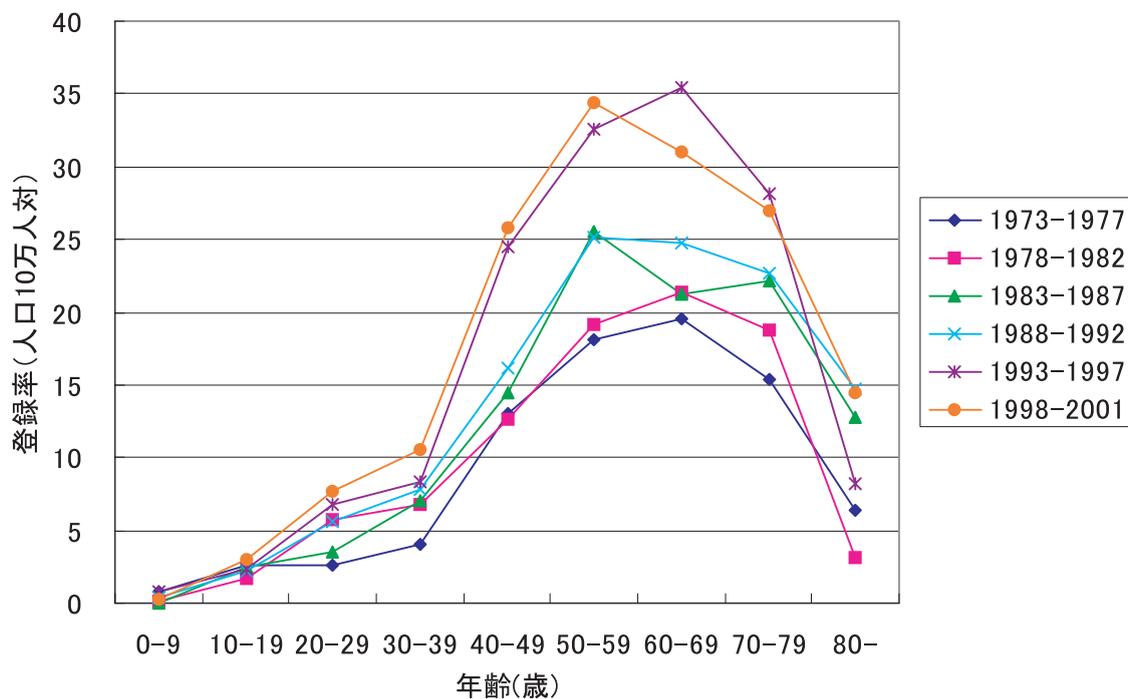


(良性)

	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	総数
1973-1977	9	25	203	163	142	56	51	28	4	681
	1.6	5.8	33.2	30.0	32.5	17.2	22.2	21.5	8.4	20.6
1978-1982	10	54	296	318	275	142	100	52	9	1,256
	1.8	11.0	55.2	50.1	58.2	37.3	37.5	32.4	14.1	35.1
1983-1987	11	84	417	528	423	198	118	81	21	1,881
	2.2	14.6	81.4	84.0	78.7	46.4	38.1	40.7	24.4	49.7
1988-1992	10	125	515	497	592	280	170	122	49	2,360
	2.2	21.3	92.6	90.5	94.1	60.8	46.7	52.1	42.3	59.7
1993-1997	6	116	580	542	630	328	236	149	44	2,631
	1.4	22.1	91.7	102.8	100.6	62.5	57.7	53.9	27.8	64.2
1998-2001	5	81	464	469	386	320	193	142	40	2,100
	1.6	21.7	91.3	105.6	88.2	64.8	55.3	54.8	25.2	62.7

年齢不詳の170例を除く

(悪性)

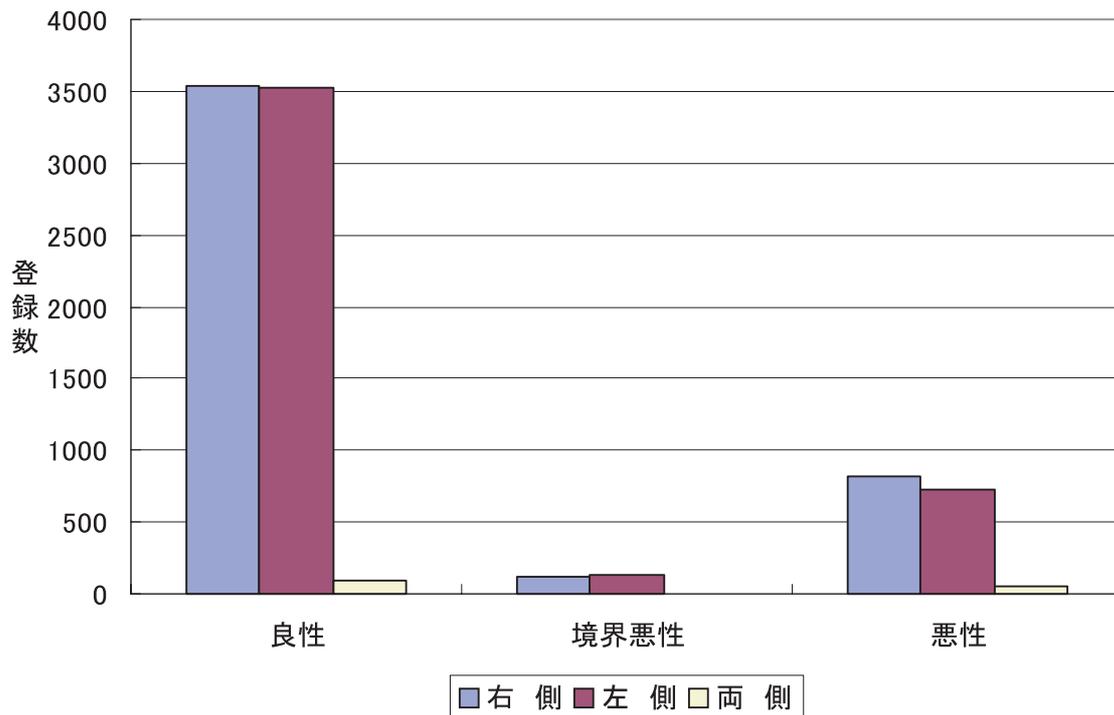


(悪性)

	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	総数
1973-1977	4	11	16	22	57	59	45	20	3	237
	0.7	2.5	2.6	4.1	13.0	18.2	19.6	15.4	6.3	7.2
1978-1982	1	8	31	43	60	73	57	30	2	305
	0.2	1.6	5.8	6.8	12.7	19.2	21.4	18.7	3.1	8.5
1983-1987	0	14	18	44	78	109	66	44	11	384
	0.0	2.4	3.5	7.0	14.5	25.5	21.3	22.1	12.8	10.1
1988-1992	2	13	31	43	102	116	90	53	17	467
	0.4	2.2	5.6	7.8	16.2	25.2	24.7	22.6	14.7	11.8
1993-1997	3	12	43	44	153	171	145	78	13	662
	0.7	2.3	6.8	8.3	24.4	32.6	35.5	28.2	8.2	16.1
1998-2001	1	11	39	47	113	170	108	70	23	582
	0.3	2.9	7.7	10.6	25.8	34.4	30.9	27.0	14.5	17.4

年齢不詳の44例を除く

(5) 卵巣腫瘍の性状（良性・境界悪性・悪性）別にみた側性別登録数（％）



	右側	左側	両側	総数
良 性	3536	3520	93	7149
	(49.5)	(49.2)	(1.3)	(100.0)
境界悪性	122	131	3	256
	(47.7)	(51.2)	(1.2)	(100.0)
悪 性	813	731	53	1597
	(50.9)	(45.8)	(3.3)	(100.0)
総 数	4471	4382	149	9002
	(49.7)	(48.7)	(1.7)	(100.0)

側性不詳の5117例を除く

(6) 卵巣腫瘍の組織型分類割合 (%)

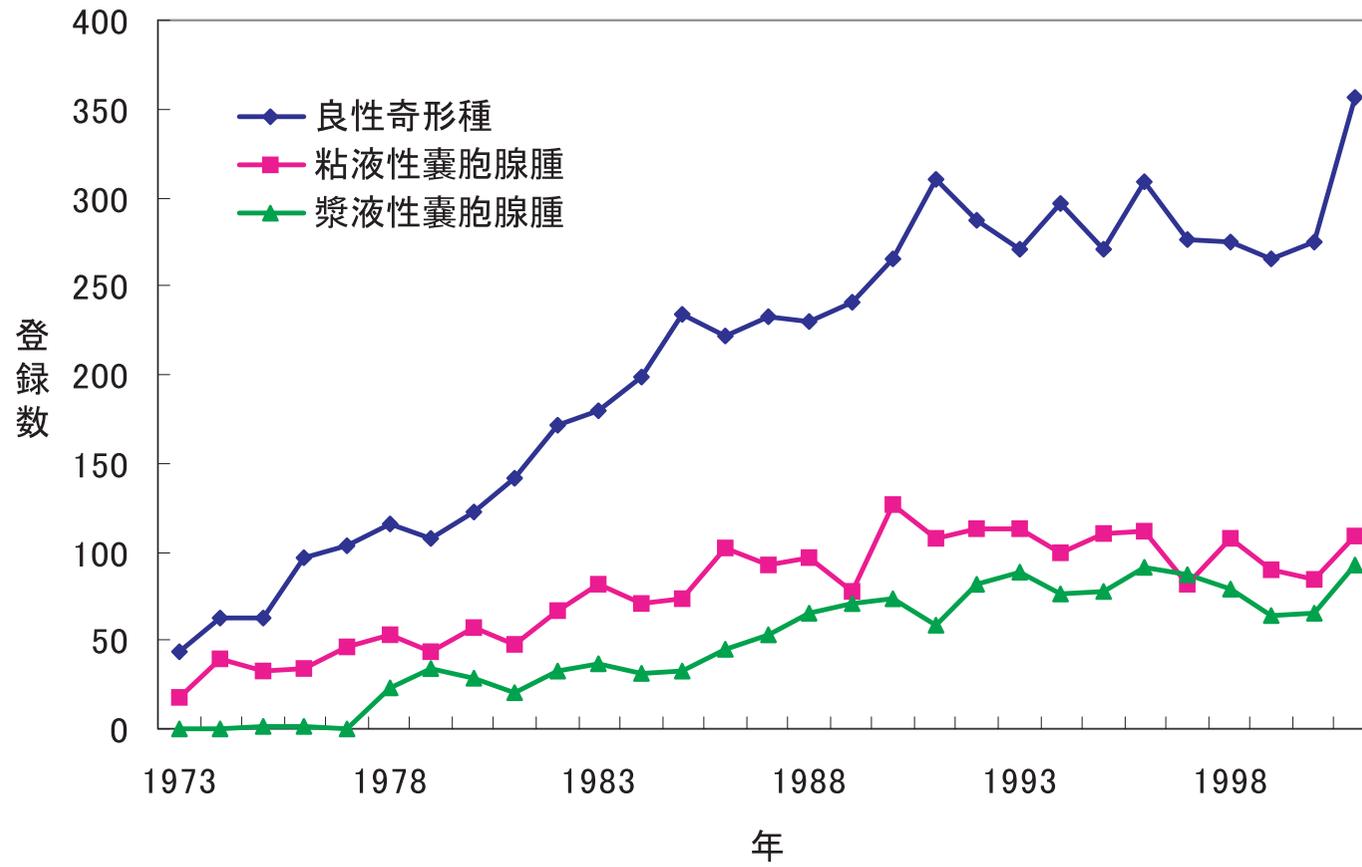
	良 性 腫 瘍	
	登録数	割合 (%)
腺腫、NOS	1	0.0
嚢胞腺腫、NOS	126	1.1
乳頭状嚢胞腺腫、NOS	18	0.2
腺線維腫	18	0.2
線維腺腫、NOS	5	0.0
漿液性嚢胞腺腫、NOS	1,409	12.7
漿液性乳頭状嚢胞腺腫、NOS	97	0.9
漿液性表在性乳頭腫	3	0.0
漿液性腺線維腫	61	0.6
粘液性腺腫	12	0.1
粘液性嚢胞腺腫、NOS	2,283	20.6
粘液性乳頭状嚢胞腺腫、NOS	36	0.3
粘液性腺線維腫	10	0.1
類内膜線維腺腫	8	0.1
明細胞腺腫	2	0.0
明細胞線維腺腫	2	0.0
ブレンナー腫瘍	124	1.1
莢膜細胞腫	192	1.7
線維腫	467	4.2
粘液腫	3	0.0
硬化性間質性腫瘍	3	0.0
セルトリ・ライディク細胞腫	10	0.1
脂質細胞腫瘍	1	0.0
門細胞腫	1	0.0
間質性黄体腫	1	0.0
奇形腫、良性	5,510	49.7
皮様嚢胞	513	4.6
卵巣甲状腺腫	101	0.9
青色母斑	1	0.0
平滑筋腫	58	0.5
血管腫	1	0.0
海綿状血管腫	2	0.0
総数	11,079	100.0

	境界悪性腫瘍	
	登録数	割合 (%)
漿液性嚢胞腫瘍、境界悪性	67	18.7
漿液性乳頭状嚢胞腫瘍、境界悪性	3	0.8
漿液性乳頭状嚢胞腺腫、境界悪性	6	1.7
漿液性表在性乳頭腫、境界悪性	1	0.3
粘液性嚢胞腫瘍、境界悪性	178	49.6
類内膜腫瘍、境界悪性	3	0.8
類内膜腺線維腫、境界悪性	3	0.8
ブレンナー腫瘍、境界悪性	4	1.1
性索・間質性腫瘍、NOS	10	2.8
顆粒膜細胞腫	56	15.6
顆粒膜・莢膜細胞腫	7	1.9
アンドロblastoma、NOS	2	0.6
セルトリ・間質細胞腫瘍、中分化型	1	0.3
充実性奇形腫	11	3.1
甲状腺腫性カルチノイド	2	0.6
カルチノイド	5	1.4
総数	359	100.0

	悪性腫瘍	
	登録数	割合(%)
新生物、悪性	4	0.1
癌(腫)、NOS	44	1.6
未分化癌	9	0.3
扁平上皮癌	5	0.2
腺癌	197	7.3
腺扁平上皮癌	2	0.1
腺棘細胞癌	1	0.0
混合細胞腺癌	1	0.0
嚢胞腺癌、NOS	6	0.2
乳頭状嚢胞腺癌、NOS	38	1.4
漿液性嚢胞腺癌、NOS	970	36.2
漿液性表在性乳頭状癌	6	0.2
粘液性腺癌	1	0.0
粘液性嚢胞腺癌、NOS	595	22.2
粘液性腺癌線維腫	1	0.0
類内膜腺癌	250	9.3
類内膜腺癌線維腫	1	0.0
明細胞腺癌	225	8.4
好酸性細胞腺癌	1	0.0
ブレンナー腫瘍、悪性	18	0.7
移行上皮癌	3	0.1
乳頭状移行上皮癌	1	0.0
顆粒膜細胞腫、悪性	32	1.2
アンドロプラストーマ、悪性	3	0.1
セルトリ・間質細胞腫瘍、低分化型	1	0.0
セルトリ細胞癌	1	0.0
線維肉腫	4	0.1
平滑筋肉腫	3	0.1
子宮内膜間質肉腫	1	0.0
小細胞肉腫	1	0.0
腺肉腫	1	0.0
癌肉腫	12	0.4
ミューラー管混合腫瘍	7	0.3
中胚葉性混合腫瘍	7	0.3

未分化胚細胞腫	55	2.1
胎芽性癌	10	0.4
内胚葉洞腫瘍	34	1.3
未熟奇形腫	90	3.4
悪性奇形腫、未分化	1	0.0
奇形癌（胎芽性癌および奇形腫混合腫瘍）	5	0.2
悪性転化を伴う成熟奇形腫	24	0.9
神経内分泌癌	1	0.0
混合型胚細胞腫瘍	3	0.1
絨毛癌	1	0.0
悪性リンパ腫	5	0.2
総数	2,681	100.0

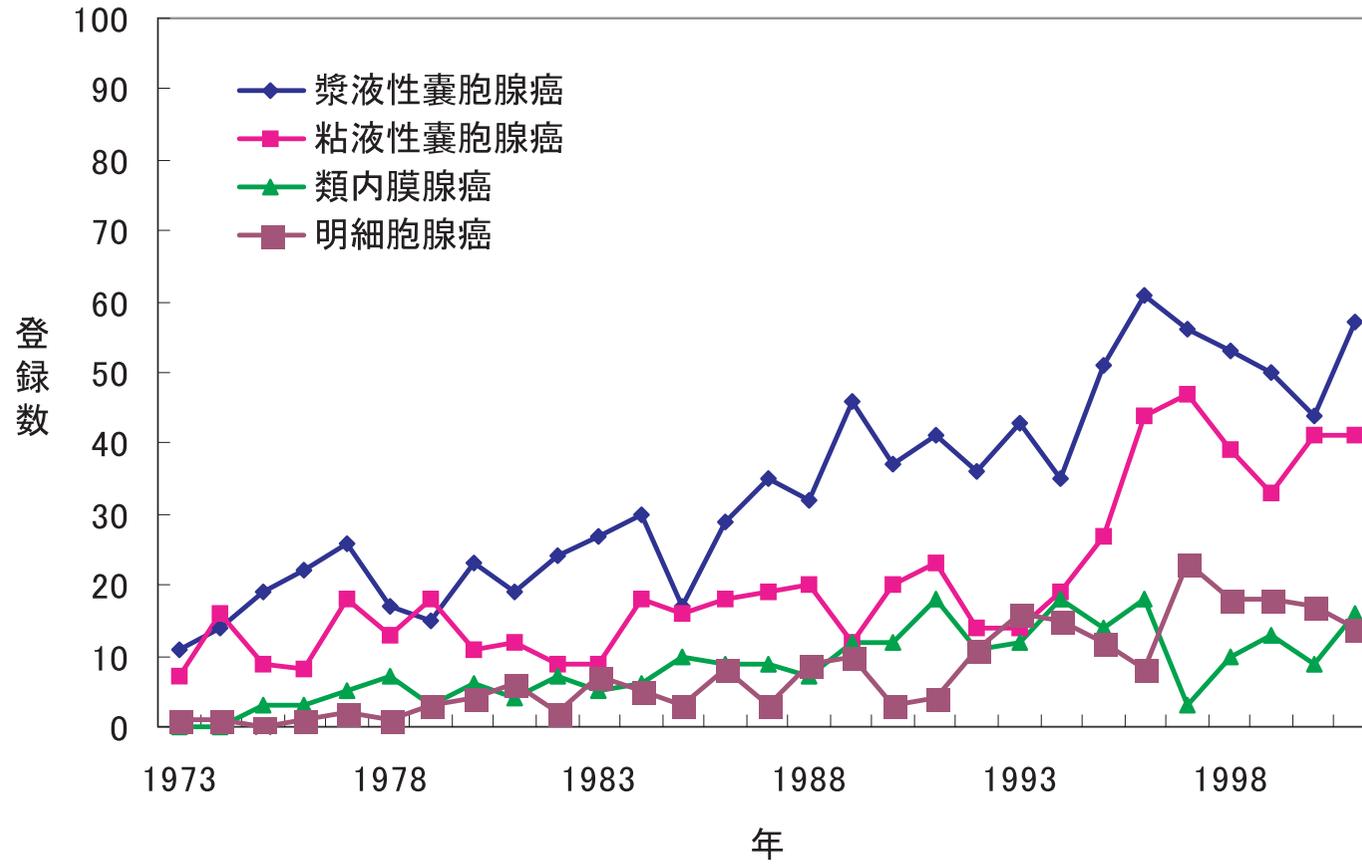
(7) 良性卵巣腫瘍の主要組織型別登録数の年次推移



(7) 良性卵巣腫瘍の主要組織型別登録数の年次推移

	良 性 奇 形 種	粘 液 性 囊 胞 腺 腫	漿 液 性 囊 胞 腺 腫
1973	43	18	0
1974	62	40	0
1975	63	32	2
1976	96	34	1
1977	103	46	0
1978	116	53	23
1979	107	43	34
1980	123	57	28
1981	141	47	21
1982	172	66	32
1983	180	81	37
1984	199	71	31
1985	234	74	32
1986	222	102	45
1987	233	93	53
1988	230	97	65
1989	241	77	71
1990	265	126	73
1991	310	107	59
1992	287	113	82
1993	271	113	88
1994	297	100	76
1995	271	110	77
1996	309	111	91
1997	276	81	87
1998	275	107	79
1999	265	90	64
2000	275	85	65
2001	357	109	93
総数	6,023	2,283	1,409

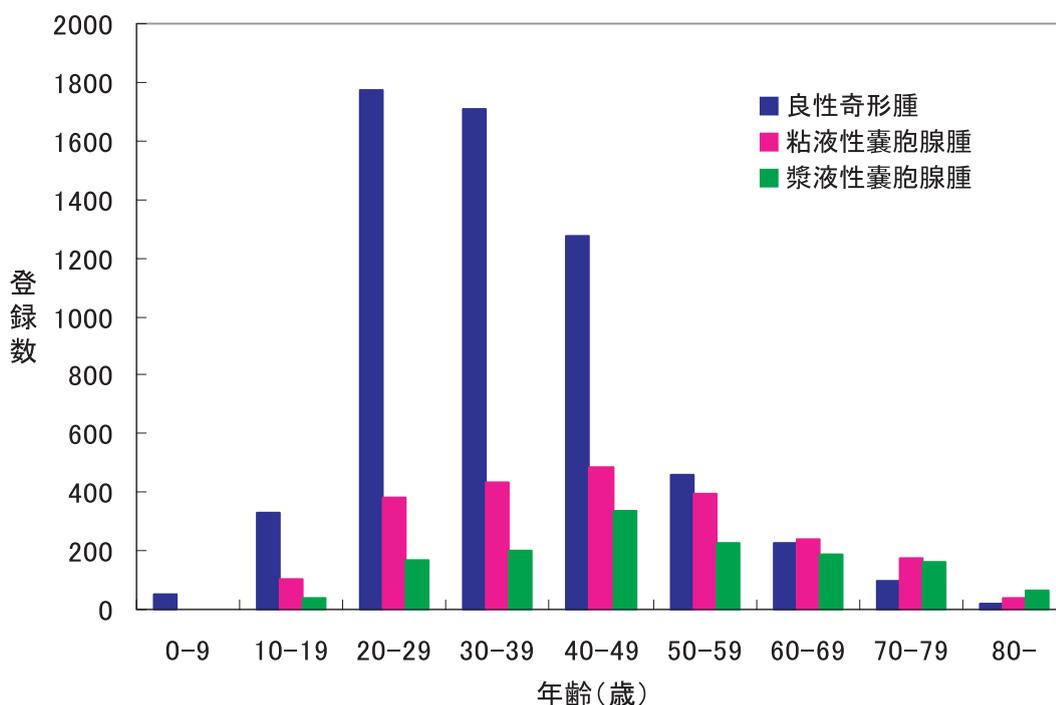
(8) 悪性卵巣腫瘍の主要組織型別登録数の年次推移



(8) 悪性卵巣腫瘍の主要組織型別登録数の年次推移

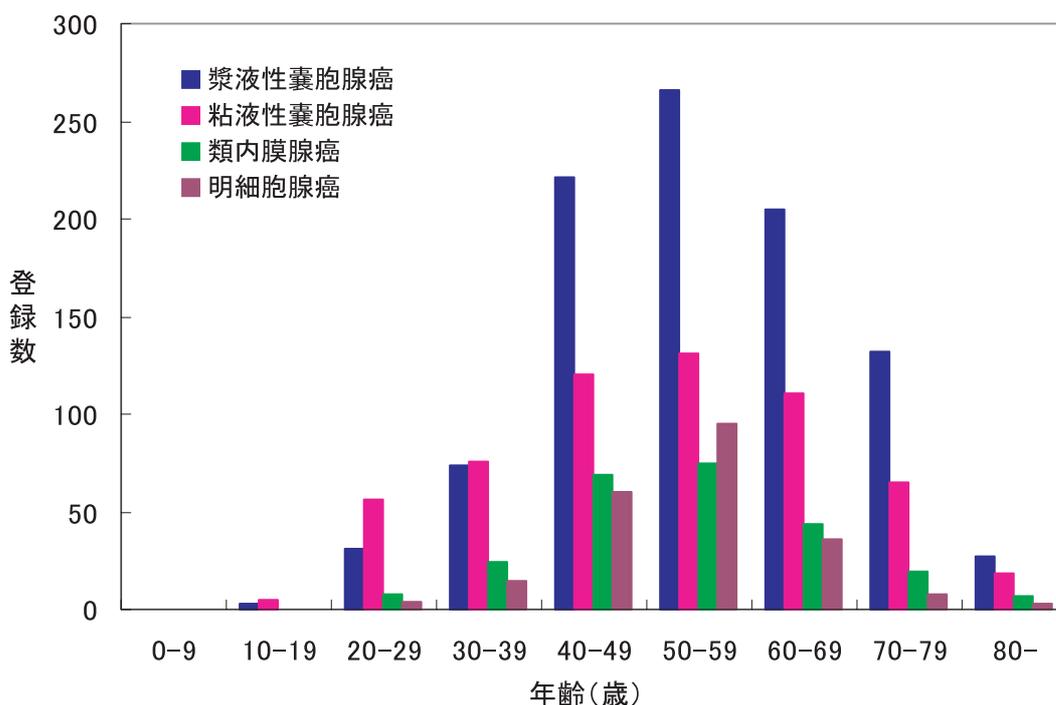
	漿液性嚢胞腺癌	粘液性嚢胞腺癌	類内膜腺癌	明細胞腺癌
1973	11	7	0	1
1974	14	16	0	1
1975	19	9	3	0
1976	22	8	3	1
1977	26	18	5	2
1978	17	13	7	1
1979	15	18	3	3
1980	23	11	6	4
1981	19	12	4	6
1982	24	9	7	2
1983	27	9	5	7
1984	30	18	6	5
1985	17	16	10	3
1986	29	18	9	8
1987	35	19	9	3
1988	32	20	7	9
1989	46	12	12	10
1990	37	20	12	3
1991	41	23	18	4
1992	36	14	11	11
1993	43	14	12	16
1994	35	19	18	15
1995	51	27	14	12
1996	61	44	18	8
1997	56	47	3	23
1998	53	39	10	18
1999	50	33	13	18
2000	44	41	9	17
2001	57	41	16	14
総数	970	595	250	225

(9) 年齢階級別にみた良性卵巣腫瘍の主要組織型別登録数 (%)



	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	総数
良性奇形腫	50	327	1,775	1,707	1,277	458	228	96	21	5,939
	(0.8)	(5.5)	(29.9)	(28.7)	(21.5)	(7.7)	(3.8)	(1.6)	(0.4)	(100.0)
粘液性嚢胞腺腫	1	101	385	433	484	392	239	175	38	2,248
	(0.0)	(4.5)	(17.1)	(19.3)	(21.5)	(17.4)	(10.6)	(7.8)	(1.7)	(100.0)
漿液性嚢胞腺腫	0	36	168	199	339	226	189	163	64	1,384
	(0.0)	(2.6)	(12.1)	(14.4)	(24.5)	(16.3)	(13.7)	(11.8)	(4.6)	(100.0)

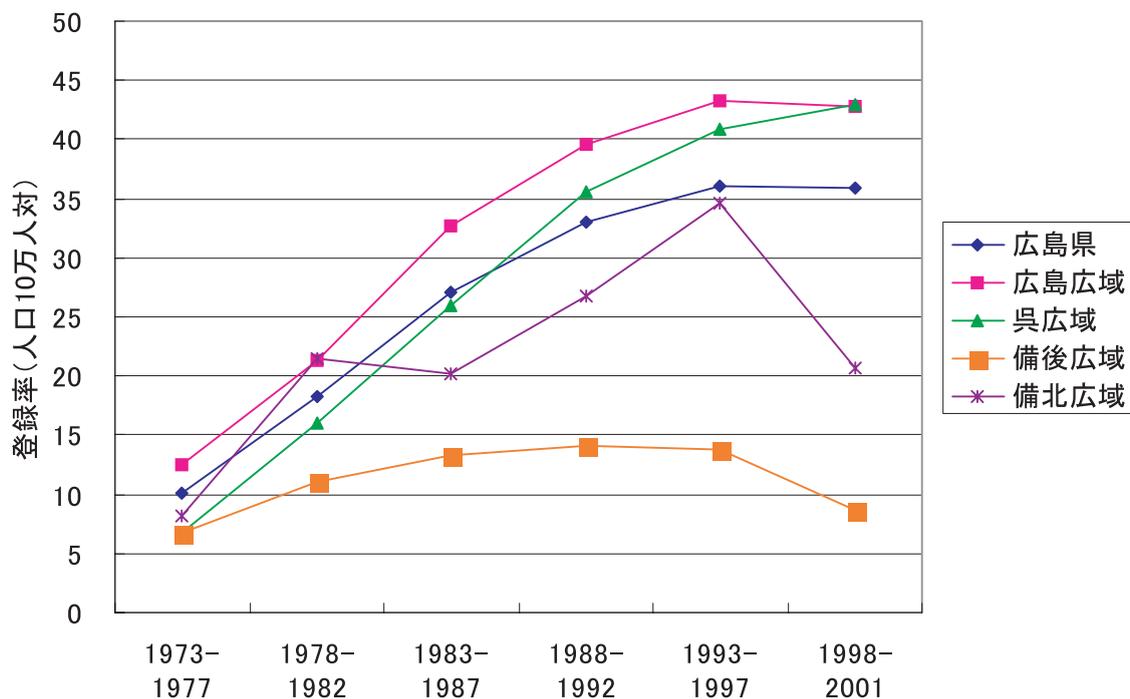
(10) 年齢階級別にみた悪性卵巣腫瘍の主要組織型別登録数 (%)



	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	総数
漿液性嚢胞腺癌	0	3	31	74	221	266	205	132	27	959
	(0.0)	(0.3)	(3.2)	(7.7)	(23.0)	(27.7)	(21.4)	(13.8)	(2.8)	(100.0)
粘液性嚢胞腺癌	0	5	56	76	120	131	111	65	18	582
	(0.0)	(0.9)	(9.6)	(13.1)	(20.6)	(22.5)	(19.1)	(11.2)	(3.1)	(100.0)
類内膜腺癌	0	0	8	24	69	75	44	19	7	246
	(0.0)	(0.0)	(3.3)	(9.8)	(28.0)	(30.5)	(17.9)	(7.7)	(2.8)	(100.0)
明細胞腺癌	0	0	4	15	60	95	36	8	3	221
	(0.0)	(0.0)	(1.8)	(6.8)	(27.1)	(43.0)	(16.3)	(3.6)	(1.4)	(100.0)

(11) 広域医療圏別にみた卵巣腫瘍の年次別登録数および登録率

(良性)

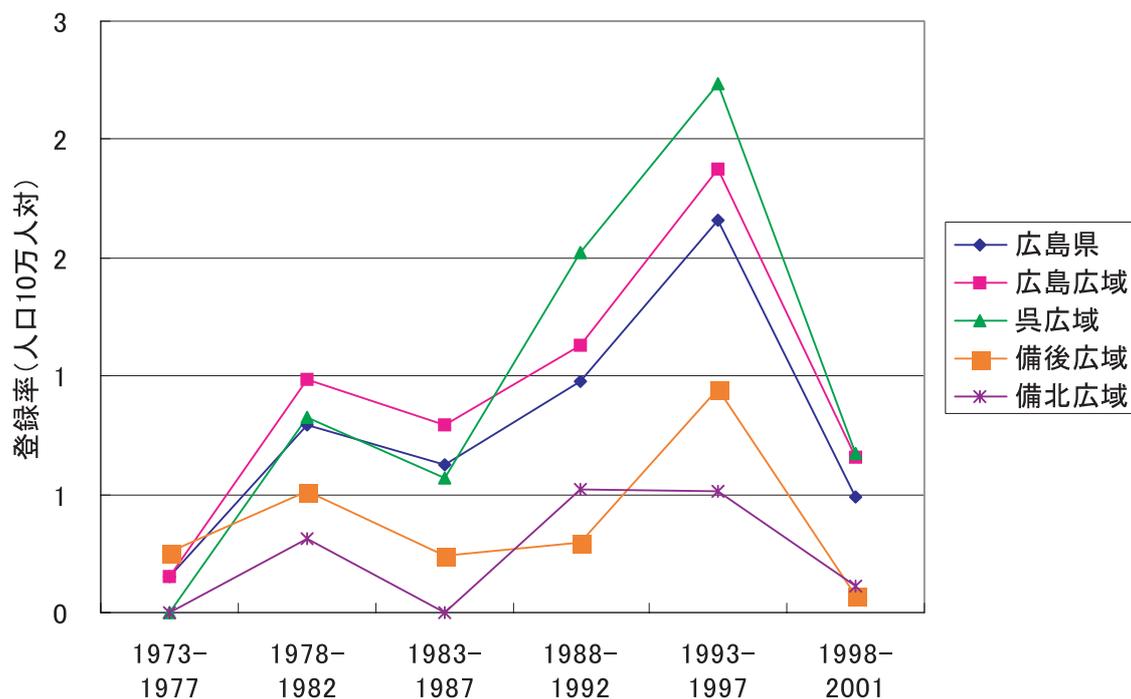


(良性)

	広島広域	呉広域	備後広域	備北広域	広島県
1973-1977	416	70	135	23	681
	12.5	6.7	6.7	8.2	10.1
1978-1982	753	164	224	61	1,256
	21.3	16.0	11.1	21.4	18.3
1983-1987	1,216	249	266	50	1,881
	32.6	25.9	13.3	20.3	27.0
1988-1992	1,556	342	292	63	2,361
	39.6	35.6	14.1	26.8	33.0
1993-1997	1,781	365	293	80	2,631
	43.2	40.9	13.8	34.7	36.1
1998-2001	1,445	296	141	43	2,100
	42.7	42.9	8.6	20.7	35.9

(上段は登録数、下段は人口10万人あたりの年齢調整登録率
(年齢調整登録率は1985年日本モデル人口で調整))

(境界悪性)

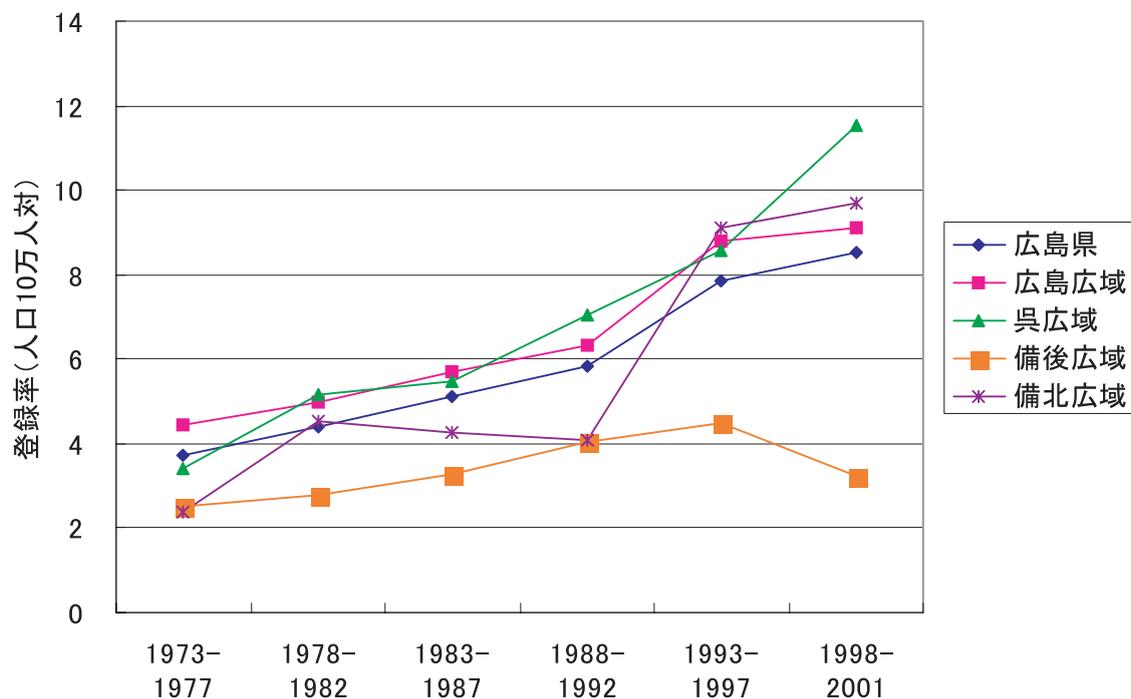


(境界悪性)

	広島広域	呉広域	備後広域	備北広域	広島県
1973-1977	5	0	5	0	10
	0.2	0.0	0.3	0.0	0.2
1978-1982	33	9	10	1	54
	1.0	0.8	0.5	0.3	0.8
1983-1987	30	6	5	0	45
	0.8	0.6	0.2	0.0	0.6
1988-1992	47	17	7	1	77
	1.1	1.5	0.3	0.5	1.0
1993-1997	83	21	21	2	133
	1.9	2.2	0.9	0.5	1.7
1998-2001	25	5	2	1	34
	0.7	0.7	0.1	0.1	0.5

(上段は登録数、下段は人口10万人あたりの年齢調整登録率
(年齢調整登録率は1985年日本モデル人口で調整))

(悪性)

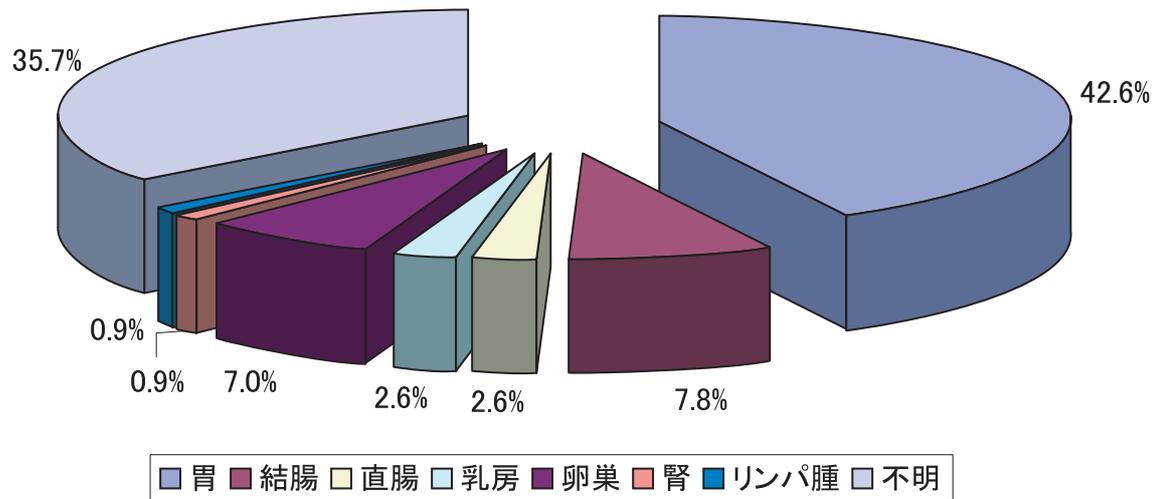


(悪性)

	広島広域	呉広域	備後広域	備北広域	広島県
1973-1977	130	38	49	9	237
	4.4	3.4	2.5	2.4	3.7
1978-1982	169	57	56	16	305
	5.0	5.2	2.8	4.5	4.4
1983-1987	214	66	75	16	384
	5.7	5.5	3.3	4.3	5.1
1988-1992	260	84	93	19	467
	6.3	7.1	4.0	4.1	5.8
1993-1997	395	102	112	28	662
	8.8	8.6	4.5	9.1	7.8
1998-2001	341	99	64	26	582
	9.1	11.5	3.2	9.7	8.5

(上段は登録数、下段は人口10万人あたりの年齢調整登録率
(年齢調整登録率は1985年日本モデル人口で調整))

(12) 転移性卵巣腫瘍の原発部位



部 位	登録数	割合 (%)
胃	49	42.6
結 腸	9	7.8
直 腸	3	2.6
乳 房	3	2.6
卵 巣	8	7.0
腎	1	0.9
リ ン パ 腫	1	0.9
不 明	41	35.7
総 数	115	100.0